

市民参画及び職員参画での取り組み

資料 3 - 2

D 作業部会

市民

中堅職員

目的	策定委員会の下部組織として設置し、事務局とともに基本構想（案）及び施策（案）等を検討する。
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体の代表や公募等 12名程度 ・ワーキンググループの中堅職員 各部2名・計10名
開催時期	・令和2年度～令和3年度
開催回数	・全10回程度を想定



参考：第一次総合計画策定時

E・F ワーキンググループ

若手職員

中堅職員

目的	<p>市民参画に加え、職員参画によっても計画を策定していくため、若手職員及び中堅職員からなるワーキンググループを設置する。</p> <p>若手職員及び中堅職員は、それぞれ（仮称）若者みらい会議や市民座談会に出席し、市民とともに野々市の未来について考える。</p> <p>また、中堅職員は、市民とともに作業部会に出席し、具体的な基本構想（案）及び施策（案）等を検討する。</p>
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・主事・主査級の若手職員 10名程度 ・主査・係長級の中堅職員 各部2名・計10名
活動時期及び活動内容	<p>【令和元年度】 10月～3月・・・職員対象の（仮称）まちづくり勉強会へ参加</p> <p>【令和2年度】 若手職員・・・（仮称）若者みらい会議へ参加 中堅職員・・・作業部会及び市民座談会へ参加</p> <p>【令和3年度】 中堅職員・・・作業部会へ参加</p>



参考：小田原市

H（仮称）若者みらい会議

市民

若手職員

目的	計画の策定にあたり、市民、特に未来を担う若者の生の声を収集するために開催する。未来を担う若者の視点で、未来の野々市の姿について考える。また、未来の野々市の姿について、実現のために自分たちは何をすべきか、自分たちには何ができるかを考える機会とする。
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・市立中学校 4名×2校 ・野々市明倫高校 4名 ・金沢工業大学及び石川県立大学 4名×2校 ・ワーキンググループの若手職員 10名程度
開催時期	・令和2年8月上旬頃（夏休みの序盤を想定）に全1回



参考：小田原市

I 市民座談会

市民

中堅職員

目的	<p>計画の策定にあたり、市民の生の声を収集するために開催する。</p> <p>第一次総合計画の推進状況や野々市市の現状、課題を確認した上で、未来の野々市の姿について考える。また、未来の野々市の姿について、実現のために自分たちは何をすべきか、自分たちには何ができるかを考える機会とする。</p>
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・参加を希望する市民 ・ワーキンググループの中堅職員 各部2名・計10名 ・策定委員会委員（全部長）5名
開催時期	・令和2年5～7月頃に会場を変えて2回開催



参考：野々市市地域福祉計画

J 市民アンケート

市民

目的	野々市市第一次総合計画推進前と推進後における市民のまちづくりに対する評価及びイメージを比較するとともに、サイレントマジョリティ（※）の意見を計画に反映させるために、市民アンケートを実施する。 （※）声高に自分の意見を唱えることをしない人々。
配布数及び実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・市民（23歳以上）3,500通 ・関係人口（野々市会やふるさと交流会参加者等）230通程度及び市職員340通程度 ・令和2年1月以降配布